



11月研修だより

vol. 8



新人看護師



～看護倫理～



ラダーレベルⅣ

倫理的意思決定支援



日常の看護の倫理的問題に気づく

看護実践で倫理的に問題ではないかと感じた体験をみんなで語り「看護者の倫理綱領」をもとに倫理的視点で振り返りました。身体拘束、せん妄、ナースコールやプライバシーへの対応、治療を拒否された患者さんへの対応など、身近によく起きている、とても重要な問題に気づくことができました。ディスカッションを通して、患者さんの思い、価値の理解、信頼関係の構築、問題と感じた時にチームに相談することの大切さなど、倫理的な看護を行う上で大切な視点に立ち戻り考えることができました。
(教育担当看護師長)



看護部長とディスカッション

患者さんの本当の思い、価値を深く考えなければ患者中心にならない。



看護師が安全、最善と考えることは、本当に患者さんの希望に沿っているかよく考えなければ・・・

いつものことと慣れてしまってはいけない。



プレゼンテーション

取り組み発表



意見交換



緩和ケア看護認定看護師からの助言



意思決定支援の実践報告をしました。倫理的ジレンマに対し、臨床倫理4分割を活用し情報を整理しながら、患者・家族、チームメンバーや多職種と繰り返し話し合ってきた意思決定支援でした。終末期、退院調整、栄養管理など複雑な問題がある事例でした。倫理的視点を意識すると、価値の対立、揺れる患者・家族の思いなど真の問題に気づくことができました。研修生の患者・家族の揺れる気持ちに寄り添い続ける姿勢、看護観が伝わる発表でした。
(教育担当看護師長)

